

会 議 要 旨

会議の名称	令和7年度第1回川越市産業振興審議会
開催日時	令和7年7月11日（金） 午前11時00分 開会 ・ 午後0時15分 閉会
開催場所	4 A会議室
議長 氏名	会長 新津 重幸
出席者（委員） 氏名（人数）	委員 久米 勉 委員 竹澤 穰治 委員 吉田 隆人 委員 松山 潤 委員 村川 はつ枝 委員 大原 健二 委員 川目 慎介 委員 榎並 和良 委員 岩澤 嗣夫 合計10人
欠席者（委員） 氏名（人数）	副会長 小谷野 和博 委員 山中 亨 委員 秋山 純 委員 増村 憲一郎 委員 新井 康夫 合計5人
事務局職員 氏名	産業観光部 部長 岸野 泰之 参事兼雇用支援課長 檜田 麻実 観光課長 榎本 学 産業振興課 副課長 倉本 隆志 副主幹 五味 弘企 副部長兼産業振興課長 飯野 英一 農政課長 小川 覚一郎 企業立地推進室長 町田 純一 主査 前田 直樹
傍聴人（人数）	なし
会議次第	1 開 会 2 諮 問 3 議 題 (1) 現行「川越市産業振興ビジョン」の進捗状況について (2) 次期「川越市産業振興ビジョン」の策定について 4 そ の 他 5 閉 会

配布資料	○次第 ○川越市産業振興審議会名簿 ○第Ⅰ回川越市産業振興審議会 会議資料 ○川越市産業振興ビジョン推進事業 進捗状況 ○現行川越市産業振興ビジョン 総合評価進捗状況 ○数値目標の進捗状況【令和6年度】 ○現行ビジョンと次期ビジョンの比較 ○第Ⅰ回川越市産業振興審議会 会議資料（当日追加分）
------	---

議 事 の 経 過

議事は、会議次第に沿って進行された。

「諮問」については、市長代理として産業観光部長が諮問書を読み上げ、会長に交付した。

「議題」については、事務局から説明後、出席者による討議が行われた。

討議の概要は、以下のとおり。

○ 議 題

1 現行「川越市産業振興ビジョン」の進捗状況について

事務局が資料に基づき説明。

2 次期「川越市産業振興ビジョン」の策定について

事務局が概要を説明。

[発言内容]

(会 長) 事業の進捗状況等については、事務局から説明があったとおり。

基本目標1の「就労」については、外国人の雇用や地域との融合について課題があると認識している。

基本目標2の「空き店舗数」が改善されていないという状況であるが、全国的にも商店街の空き店舗は課題となっており、総合的な改革が必要である。

基本目標3の「ものづくりブランド認定」については、伸び悩んでいる状況であるが、認知度向上に課題があると感じている。

基本目標4の「産業間連携」については、産業分野は環境の変化が激しいため、どのように産業間での連携をしていくのかが、今後の課題となってくる。

私の方からそれぞれの基本目標について、関連する情報を提供したが、委員それぞれの立場なども踏まえつつ、ご意見を賜りたい。

(委 員) 付加価値の高い企業を育てるためには、創業支援だけではなく、社内ベンチャーに対する支援や上場支援も必要でないかと考える。また、川越に証券取引所を作り、金融セクターの中心地として活性化させるというアイデアもある。

(委 員) 創業支援について、川越市文化創造インキュベーション施設「コエトコ」、リソなコエドテラスや創業支援ルームがあり、川越で創業するためのソフト面及びハード面が整っている。一方で、創業後の支援が重要であると考えており、事業を継続していくための支援に課題があると感じている。

また、人材確保を課題と捉えている事業所が多いため、官民一体となって対応していく必要があると考えている。

(委 員) 産業振興ビジョンのことを知らない者も多いのではないかと感じている。ビジョンのことを広報することで、いろいろな声が上がリ、課題解決の糸口につながっていくと考える。

(委 員) 観光客が食べ歩き等をするだけの、消費される街になりつつあるように感じている。遊休歴史的建造物等を活用しながら、民間資本を使って付加価値を作り出せるような街にしてほしい。

(委 員) 産業振興計画は農業振興計画と整合を図っているとのことだが、遊休農地に対する対策はどうなっているのか聞きたい。

(事務局) 遊休農地の問題は全国的な課題と認識しており、川越市では、地域の担い手を集める取組を行っている。

(委 員) 就労について、若い人を中心に新規就農希望があるようだが、「儲からない」とうことで、一歩踏み出せないようだ。川越のイモは6次産業化しており、収益も上がっているようである。そこをアピールして若い人が就農に踏み出せるにしたらよいと考える。

(委 員) 工業関係事業所が抱える課題は3つあると認識している。

1つ目はトランプ関税である。サプライチェーンの再編が起こっており、半年から1年後に大きく影響を与えると思われる。産業振興ビジョンにも記載のある制度融資について、手厚くご支援いただきたい。

2つ目は猛暑対策である。6月から猛暑対策が法律で義務化され、空調等の対策が必要となってくる。草加商工会議所では、空調服に対する補助金制度を新設したとのことであり、川越市でも柔軟な補助金の設定をご検討いただきたい。

3つ目は人材確保である。大企業との賃金格差により新卒・中途採用が難しく、離職も多いのが実情である。今後は外国人労働者の雇用も必要であると考えられるため、中小企業向けに外国人実習生の受入セミナーなどがあるとよいと考える。

(会 長) トランプ関税は販路開拓に影響を与えることになる。

(委 員) 商店街の活性化に向けてイベント等を行う際の広告費が高騰していて負担になっている。産業振興ビジョンの施策として ICT 化に対する補助が記載されており、徐々に QR コード等に置き換わっていくことは承知している。一方、商店街は高齢化率も高く、スマートフォンを活用した仕組みを構築することが難しいのが実情である。広告を市の広報と一緒に出している市もあるようだが、川越市も広報を活用した情報提供の仕組みはないだろうか。

人材不足の問題については、学生に対して川越の産業の魅力を発信する必要があると考える。学生と事業者がつながるような仕組みがあれば、新たなアイデアも生まれると思われる。

(会 長) 今の学生は転職を前提として就職するようであり、人材の確保は今後の大きな課題となってくる。

(委 員) 外国人労働者が増えていく中で、地域とのコミュニケーションの取り方を考えていかないといけない。

(会 長) みなさまから次期計画に向けた意見や要望を出していただいた。事務局でご検討いただきたい。

○その他

(事務局) 第2回産業振興審議会は8月28日午前に、第3回産業振興審議会は10月9日午後を予定している。

次回の審議会では、原案をお示ししたうえでご審議いただきたい。